

さぬき水田営農だより

●発行日／平成18年10月27日 ●発行／香川県水田農業振興協議会（事務局：香川県農業協同組合中央会 TEL 087-825-2503）

米 穀 情 勢

1. 全国の作柄と需給の情勢

(1) 18年産水稻の作柄概況は、5～7月の日照不足や梅雨明けの遅延、一時的な低温等による穂数・粒数の減少や九州を中心とする台風被害の影響により、全国的に「やや不良」となっています。

〔参考〕9月15日現在の作況

全国：作況97、単収515kg/10a、平年単収529kg/10a

香川：作況96、単収479kg/10a、平年単収499kg/10a

(2) 現作況下では、主食用等の需要量844万t（18/19年需要見通し）に対して9万tの過剰生産が推計されています。

さらに、17年産政府備蓄米（40万t）や新米販売進度の遅れ等を考慮すれば、コメ不足という状況はありえないと考えられます。

このため、19年産においても生産調整の実効確保に向け、地域が一体となって取り組むことが一層重要になります。19年産から生産調整のメリット対策等が見直されます。決定次第ご周知いたしますので十分ご理解のうえ、ご協力をお願いします。

2. 「売れる米づくり」を目指して、いざ、実りの秋へ出陣！

(1) さぬきの新米キャンペーン（9月～11月）

香川県産新米を買って応募すると、抽選で520名に「香川の特産品」が当たるキャンペーンを昨年に続き実施しています。同時に売り場や店頭で試食販売スタッフによる香川県産新米の試食販売を展開しています。百聞は「一食」にしかず。実際にホカホカごはんを食べていただいたお客様は、香川のお米のファンになってもらえる自信があります。一層高品質・良食味米の生産を目指しましょう。

(2) 鮮度が命！田んぼから一週間で食卓へ！（10月）

京阪神地域の米穀店（さぬき米夢クラブ）と共同で実施している企画で、大好評だった昨年に引き続き、今年もJA香川県川津町支店のヒノヒカリ生産者、職員等の協力を得て、収穫から最短期間で新鮮な新米を食卓に届けました。4回のお届け日で、約45トンの玄米を川津町ライスセンターより出荷しました。期間・数量とも限定し今年も多数の予約注文があり、米穀店も「『本当に美味しい米』を判別できる消費者の味覚・嗅覚に脱帽している」と驚きを隠せません。「とれたて」が一番です！



新米キャンペーン（試食販売）



鮮度が命！（川津町支店管内刈取）

新たな米の需給調整システム

米の需給調整は、19年産米から国・県の提供する「需給に関する情報」をもとに、農業者・農業団体が主体的に需給調整を行うシステムへ移行することとなっています。

国

需要実績に基づき、都道府県別の「需要量に関する情報」を提供



香川県

市町ごとの「需要量に関する情報」を提供



市 町

地域水田農業推進協議会ごとの「需要量に関する情報」を提供



地域水田農業推進協議会（市町／JA等）

生産調整方針作成者（JA等）ごとの「需要に関する情報」を提供

農業者ごとの配分ルールを算定

生産調整実施者を確認



生産調整方針作成者（JA等）

提供をうけた「需要に関する情報量」内で自らの生産目標数量を決定

農業者ごとの生産目標数量を決定し、配分

実施計画書の配布・回収

農業者間調整



農 業 者

生産調整を実施

生産調整のメリット対策（産地づくり交付金等）



19年度からの生産調整実施者のメリット対策

平成19年産から米も含めた品目横断的経営安定対策が導入されることに伴い、生産調整実施者のメリット対策についても、米政策改革大綱の趣旨に沿った見直しが行われます。

米政策改革推進対策

現行の対策 (平成16~18年度)

産地づくり対策

- 地域での助成の用途や水準は、地域協議会が決定

麦・大豆品質向上対策 耕畜連携推進対策

- 担い手の高品質な麦・大豆の生産、飼料作物の生産を支援

稲作所得基盤確保対策 担い手経営安定対策

- 米価が下落した場合の緩和対策

集荷円滑化対策

- 豊作による過剰米処理を支援

米政策改革推進対策 (平成19~21年度)

産地づくり対策（継続）

- 地域での助成の用途や水準は、地域協議会が決定
- 担い手以外の米価下落に応じた助成（稲作構造改革促進交付金）

耕畜連携推進対策のみ 継続

- 水田の利活用対策として、地域の創意工夫を活かした飼料生産の取組を支援

<担い手>
品目横断的経営安定対策へ移行

<担い手以外>
産地づくり対策の中で実施
(稲作構造改革促進交付金)

集荷円滑化対策（継続）

- 実効性を確保し、豊作による過剰米や持越在庫の処理を支援

さあ、麦を播く時期が来ました！～麦の播種・初期管理～

播種前の雑草防除

播種前に雑草の発生が多い場合は、ラウンドアップハイロード、フリグロックスL又はバスタ液剤※を散布し、枯らせておきましょう。
(※小麦のみ)

ススメノカタビラ



ススメノテッポウ



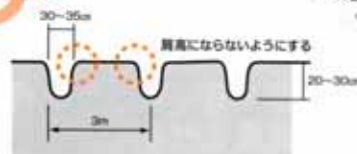
適期に播種しましょう

播種前に排水溝を設置していますか？
播種適期（下表参照）に土壤条件が整えば、播種しましょう。

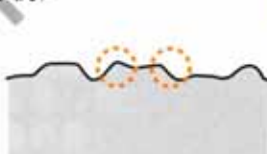
もし、降雨が続いて適期に播種が行えないときには、あわてて土壤条件の悪いほ場に播種するのではなく、できるだけ土が乾いてから播種を行いましょ。やむを得ず播種が12月以降に遅れる場合は、播種量を増やす、施肥量を減らすなどの調整が必要です。

播種前に発生していれば、除草剤の散布を！

<良い事例>



<悪い事例>



排水対策

播種した後は、できるだけ早く排水溝を設置し、降雨後の排水がスムーズにできるようにしておきましょう。排水溝は必ず落水口までつなげ、肩高にならないように注意しましょう。

(表) 播種期の目安

品種	播種期	
	早 限	適 期
さぬきの夢2000	11月 5日	11月10日～20日
イチバンボシ	11月10日	11月15日～25日

JAから配布される18年播き用のはだか麦種子は、消毒済みです

県内のイチバンボシに斑葉病の発生が増加しているため、18年播き用のイチバンボシの種子は、自家採種せず、JAから購入してください。今回、JAから配布されるイチバンボシ種子は、「トリフミン水和剤」を粉衣し消毒済みです。

この消毒済み種子を播くときには、次の点に注意してください。

- ①食用・飼料用には使わない。
- ②トリフミン水和剤は、皮膚に対して弱い刺激性があります。取扱いの際、皮膚に付着しないように注意してください（農業用マスク、不浸透性手袋、長スボン、長袖の作業着等を着用する）。万一、付着した場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。
- ③播種機の中に長時間種子を入れたままにしておくと吸湿し、種子が詰まる場合がありますので、注意してください。その日の作業の後には、播種機から出しておくなどの対応をしてください。
- ④播種機に種子が詰まらないように確認しながら播種作業を行ってください。
- ⑤播種後、軽度の初期生育の遅れがみられる場合もありますが、その後、回復しますので、通常の管理をしてください。

播種後の雑草防除

播種後、麦が出芽するまでにトレファノサイド乳剤又は、トレファノサイド粒剤2.5を散布し、初期の雑草発生を抑えましょう。

除草剤を使用する前に、説明書やラベルをよく読み、使用基準を守って使いましょう。

〈詳しくは、最寄りの農業改良普及センター、JA営農経済センター・支店までお問合せください〉